

E：運転者（飲酒運転根絶関係）

NO	ビデオ・DVD名	映像時間 購入時期	対象	内容・解説
E-64	アルコールについての正しい知識を！ 本当にわかっていますか？ 飲酒運転の危険性 ※DVDのみ	23分 2021年3月	運転者	一瞬にして重大事故を引き起こし、多くの人の人生を変えてしまいます飲酒運転。近年、飲酒による交通事故は減少傾向にあるとはいえ、いまだ根絶には至っていません。なぜ、飲酒運転をしてしまうのでしょうか。飲酒運転を防止するには、まずアルコールについて正しく知る必要があります。この作品では、「自分は大丈夫」と思い込みがちなケースを取り上げ、専門家の解説を交えながらアルコールが及ぼす影響について説明します。
E-63	夢を奪ったハンドル ～飲酒・居眠り・ ながら運転の悲劇～ ※DVDのみ	26分 2021年3月	運転者	交通死亡事故を起こし、実刑判決を受けたドライバーを収容する市原刑務所。受刑者は、毎日、自分が犯した罪と向き合っています。この作品では、受刑者の反省の刑をタテ軸に、残された被害者の家族の悲しみの生活を捉えながら、私たちは加害者にも被害者にもなってはいけないということを訴えていきます。また、「ながらスマホ」に起因する交通事故も検証し、2019年に道路交通法の一部改正が行われ罰則が強化されたことにも触れています。
E-55	切り裂かれた未来 ～飲酒運転の代償～ ※DVDのみ	26分 2019年3月	運転者	この作品は飲酒運転により死亡事故を起こした加害者、及びその家族、そして被害者の家族ばかりでなく、加害者が勤務する会社の社会的責任（CSR）までをも描いています。飲酒運転による交通事故が波紋のように周囲のものたちを悲しみと苦しみの日々につき落とす様子を描くことで、飲酒運転に警鐘を鳴らしています。
E-53	飲酒運転ゼロを目指して ～大切な人を 悲しませないために～ ※DVDのみ	16分 2018年8月	運転者	札幌方面中央警察署が制作したDVDです。飲酒ひき逃げ事故でご息女を亡くされた遺族の手記の朗読、飲酒運転をしてしまった男性へのインタビュー、飲酒がもたらす身体への影響の実験等が収録されています。
E-52	飲酒運転被害者遺族の言葉 ～目を閉じれば～ ※DVDのみ	15分 2018年8月	運転者	札幌方面中央警察署が制作したDVDです。飲酒ひき逃げ事故でご子息を亡くされた、高石洋子さんの講話を収録・編集しています。
E-47	絶対にダメ！飲酒運転 「しない！」「させない！」 「許さない！」 ※DVDのみ	21分 2017年3月	運転者	飲酒運転による交通事故件数は、度重なる厳罰化、飲酒運転根絶に対する社会的気運の高まり等により減少してきたが、ここ数年下げ止まり傾向にあり、飲酒運転事故は後を絶たない。飲酒運転をすることでどのような罰則が与えられるのかを分かりやすく解説し、飲酒運転は犯罪であり絶対に許さない！と飲酒運転根絶を強く訴えます。
E-42	終わりなき悔恨 ～飲酒運転の果てに～ ※DVDのみ	28分 2015年3月	運転者	不幸にも交通事故を起こしてしまった家族と突然の事故に遭ってしまった被害者、そして周囲に起こる悲劇を丹念に描き、二度とこのような悲しい事故が起こらないようにとの願いを込めて制作したドラマ形式の教材です。
E-27	飲酒運転 許されない犯罪 ※DVDのみ	23分 2011年3月	運転者	順風満帆な人生を歩んできた会社員が気の緩みから会社の車で飲酒運転をし、死亡事故を起こしてしまいます。周囲の人間の悲劇、責任を描き、飲酒運転は許されない犯罪と訴えています。
E-14	飲酒運転 罪と罰 破滅への選択～あなたならどうしますか～ ※DVDのみ	16分 2009年3月	運転者	イエスかノーかどちらを選択するか。フローチャートのスタイルをとりながらどこにでもいる平凡なサラリーマンがなぜ「破滅への選択」をたどってしまったのかをドラマ仕立てと検証実験を通して描いた作品です。
E-13	飲酒運転根絶宣言 企業の取り組み ※DVDのみ	22分 2009年3月	運転者	最近の飲酒運転死亡事故の判決では、加害者ドライバーの「業務中」という概念を拡大し、被害者の救出を図る傾向にあり、企業の責任はますます重くなっており、企業は、従業員が飲酒運転をすれば信頼を失い、その回復のために多大な費用と時間を費やすこととなります。この作品では、飲酒運転防止の取り組みを行っている企業を取り上げ、その責任の重さを規模の大小・職種の違いを問わず全ての企業に理解していただけるよう訴えています。
E-8	飲酒運転悲劇の連鎖 ※DVDのみ	27分 2008年3月	運転者	この作品では、飲酒運転により死亡事故を起こした加害者、及びその家族、そして被害者の家族ばかりでなく、加害者が勤務する会社の社会的責任（CSR）までも描いてゆきます。飲酒運転による交通事故が、波紋のように周囲のものたちを悲しみと苦しみの日々に突き落とす様子を描くことで、飲酒運転に警鐘を鳴らします。
E-6	疾走の迷宮 飲酒運転の悲劇 ※DVDのみ	30分 2008年3月	運転者	飲酒運転という危険な行為で命を奪われた被害者や遺族にとって、加害者は正に憎むべき《無差別殺人者》となるのです。この作品では、飲酒・ひき逃げ死亡事故を舞台に「加害者とその家族」・「被害者家族」・【加害者の周辺者】という三者三様の悲劇の連鎖模様を見せていきます。それぞれの立場における心の軌跡（油断・葛藤・後悔の念など）をつぶさに描くことで、飲酒運転死亡事故の悲惨さをドライバーに訴えます。